第25回「2019京都てんとう虫マラソン大会」Last Run

ーみんなで走ろう、障がいのある人もない人もー

大　会　報　告　書

大　会　名 2019京都てんとう虫マラソン大会

主　　催 京都ボランティアマラソン実行委員会

代　表　者 大会会長 竹下 義樹　　実行委員長 神山 章治

開催日時 2019年9月22日(日)午前9時30分～午後1時30分

開　催　地 「城陽五里五里の丘(京都府立木津川運動公園)」京都府城陽市富野

競技種目 2周コース＝約2.5㎞ 4周コース＝約5㎞ 8周コース＝約10㎞

参加人数 延べ460名　走者:350名 2周コース204名 車いす参加3名その伴走3名 4周コース58名 8周コース82名

(実質参加435名) スタッフ:110名(うち走者登録25名)　(参加者数:昨年比+111)

うち当日参加申込者:走者 19名(2周 15名　8周 4名)　スタッフ 7名

事前エントリー 425名 走者:342名 (うちスタッフ走者25名含む) スタッフ登録108名(スタッフのみ83名)

2周コース=193名 車いす参加 3名とその伴走3名 4周コース=61名 8周コース=82名

うち障がいのある人 78名(22.8%)

視覚障がいのある人 13名　聴覚障がいのある人 1名　知的障がいのある人 59名

肢体障がいのある人 3名 視覚と肢体の重複の人 1名 視覚と聴覚重複の人 1名

伴走又は付き添いで参加登録した人 32名

スタッフ登録:108名 (うち、スタッフのみの登録83名、走者として参加する人25名)

当日欠席 走者11名(2周 4名 車いす 0名 4周 3名 8周 4名) スタッフ 5名

大会内容 ＊四半世紀続けてきました「京都てんとう虫マラソン大会」は、今年でピリオドを打つことになりました。
台風の影響が心配され、どしゃぶりも覚悟して当日を迎えましたが、全く雨に降られず、暑過ぎずもせず、ちょうど良い天候に恵まれました。
熱中症になる人もなく、無事に楽しく大会を終える事ができ、本当に良かったです。
参加人数は昨年より100名ほど多く、参加者皆で盛り上がりました。

＊競技出場者の年齢は、3才～85才。85才の方も、ゆっくり歩きながら2.5㎞に参加されました。
地域的には、近畿=京都市内129名、京都府141名(宇治市98名・城陽市13名・木津市11名)、大阪、兵庫、滋賀、奈良、三重から。遠方の方は東は埼玉、静岡、岐阜、西は愛媛、広島、徳島からの参加がありました。

＊今回初めてエントリーした人は53名(昨年比-2名)、今年2回目という参加者は41名(昨年比+2名)、3～5回目の人40名、6回目の人8名、7～9回目の人は9名、10～19回目の人18名、20～23回目の人5名、24回目の人(エントリー含む)1名、最初から全回エントリーという人が1名ありました。 (いずれも自己申請による)

＊開会式では、志津川福祉の園の園生の方に選手宣誓をして頂きました。
鼓笛隊「ビッグスカイバンド」の演舞や演奏もあって、和やかで晴れやかな雰囲気で大会が始まりました。

＊開会式後のウォーミングアップは、今年もみんなで「ラジオ体操」をしました。

＊種目は「2周コース=約2.5㎞ラン&ウォーク」「車いすでの参加」と、「4周コース=約5㎞」、「8周コース=約10㎞」でした。

＊2周コースは、ウォーキングも「可」として、参加しやすくしています。

＊時間の関係上、「4周・8周コース」は、同時スタートにしました。

＊コースは、走りやすい道でアップダウンが適当にあり、競技に参加した人には好評でした。
沿道での和太鼓の応援やスタッフの声援にも、勇気づけられたと喜んで頂きました。
＊コースには毎年、本部近くに1か所エイドステーションと救護コーナーを設けています。
今年も、救護コーナーに隣接して、ボランティアで整骨施術のサービスがありました。
＊完走者には、点字入りの「完走証」と完走メダル（陶器製）を授与しました。メダルは毎年好評です。
また、走られた後の水分補給に水500ccのペットボトルを提供しました。
＊参加者には、参加賞として、主催者側からは当大会参加記念に陶器製の「オリジナルお湯のみ」（社会福祉法人山城福祉会「志津川福祉の園」 園生製作）と「バナナ」を。 また、協力企業からのそれぞれの提供品の「シューズバック(オリジナル巾着)」「パン」「栄養補助食品」「ハブラシ」「塩分補強タブレット」「石鹸」「うちわ」他にも当たり券で、「お米」「鰹節」「お花の鉢」「花の苗」「清涼飲料水」「ボールペン」 等の品々をプレゼントしました。今年もご提供頂いた品が多く、盛りだくさんの参加賞で参加者の皆様に喜んで頂きました。
「シューズバック」は、 就労継続支援事業所「 ワークハウスせいらん」の手作りによるものです。
＊今年は最後の大会になるので、締切日までに事前申し込みをした方には記念の「京都てんとう虫マラソン大会」オリジナルのTシャツを差し上げました。
＊参加者に配付したプログラム（47ページ）には、当日のスケジュールや競技参加者氏名・協力金提供者名・スタッフ名、関係団体の紹介・手引きの方法・点字の紹介・指文字の紹介・協賛広告等を掲載しました。
印刷・製本は、「京都市洛南障害者授産所」によるものです。
＊体験コーナーは、より多くの方に参加してもらえるよう、競技中も併設しました。
応援に来られた方や手の空いたスタッフにも「アイマスク歩行体験」「車いす体験」に参加して頂きました。
※アイマスク歩行体験＝アイマスクを装着しての歩行と手引きの仕方の体験。今年も白杖2本をライトハウスから借用し展示しました。
※車いす体験＝少しの段差などの障害物による車いす操作の難しさの体験。このコーナーは、京都車いす点検ボランティア「スイマルク」の皆様にご協力を頂きました。
＊閉会式前のイベントコーナーでは、吹奏楽隊「ウインドアンサンブルピアチェーレ」による演奏と、手話で歌う“世界で一つだけの花”を「志津川福祉の園」の園生とみんなで歌いました。「吉田今宮太皷」の演奏もあり、盛り上がりました。雨が降れば中止のところ、降らなかったので両方の演奏が聞けて良かったです。
＊参加者の多くの方が、この大会を楽しんで下さったようです。
＊開会式終わりまで参加された方に、スタッフから25年間の感謝を込めて「オリジナルタオル」を配りました。
＊当日は、京都新聞社の取材があり、翌23日の朝刊の京都版に大会の様子が紹介されました。

参加賞提供　13社　（当たり券での景品を含む）
広告提供　69件
協賛金提供　1 件
協力金提供　10件
後援　京都府、京都市、城陽市、宇治市、京都府教育委員会、京都市教育委員会、城陽市教育委員会、宇治市教育委員会、京都府社会福祉協議会、京都市社会福祉協議会、京都府視覚障害者協会、京都ライトハウス、京都聴覚言語障害者福祉協会、京都新聞社会福祉事業団、京都商工会議所、京都中小企業家同友会
協賛　京都プラザホテル